
とある少女Tの独白

狛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある少女Tの独白

【Nコード】

N1714BA

【作者名】

狛

【あらすじ】

とある少女Tの独白。

オリキャラな上に一護がちょこっとしか出てきません。

(前書き)

人生長いんだから、そんなこともあるって。叶わない夢見たって別にいいでしょ。

朝起きたら八時を回っていた。いつもは六時に起きるのに、これでは完璧に遅刻だな、なんて思って。

どうやら制服のまま居間で寝てしまっていたらしい。スカートは皺になっていなかったから良かったけど、珍しいこともあるんだな。

朝の日課でテレビをつけたら何故か砂嵐。チャンネルを変えても砂嵐。地デジにしたのにおかしいな。軽く叩いたらブツツと電源が切れた。……壊れたかな？

何も食べないで、鞆を持って外に出たら、幽霊が見えるようになっていた。人生そんなこともあるんだな。

門から出ようとしたら、黄色いテープが張られていた。酷い悪戯だな、なんて思いながら取り合えず放置。どうせそのうち飽きるでしょ。

その時、ちょうど小学生とすれ違った。私の家を指差しながら「幽霊屋敷」。え、ちょっとそれ酷くない？

まあ、生きてりゃそんなこともあるのかな。

学校に着いて、いつもの教室に入ったらみんなが一斉に驚いた顔をしてこっちを見てきた。そんなに私が遅刻するのって珍しいのかな、なんて思いながら席に着いたら、またびっくりされた。えっ、ちょっと、悲鳴なんて上げないでよ。

休み時間になって、友達のところに行っただけど無視された。みんな目すら合わせてくれない。はーん、これがイジメってやつか。されるような覚えなんてないけど、人生長いしそんなこともあるんだな。

トイレに行こうと思って教室を出ようとした時、オレンジ頭の黒崎くんとすれ違った。

「何でいんだよ」

それは、もう学校に来るなって意味ですか？ちょっと軽く傷付いたよね、うん。

こんな時はトイレより屋上に行こう。初めてのおサボりだけど、いつも真面目に出てたし今日くらい別にいいよね。のんびり日向ぼっこ、屋上ってすごく気持ちいい。発見、発見。大発見。

いつの間にか寝ていたみたい。ちょうど変な夢を見ている。夢なう。どうでもいいけど。

江戸時代のような家が並んでいて、みんな着物で。わらわら集まってきた。「名前は？」なんて聴かれたから「田辺美野」とか素直に答えた私って馬鹿。知らない人に個人情報提供してしまった。まあ、過ぎたことを気にしたってしょうがないけど。

何だか話の流れで山田花子さんの家にお邪魔することになった。山田花子さんは昭和の人らしい。私と同じくらいに見えるけど、そんなこともあるんだな。

「私達みんな死んでるの」

へえ、そうなんだ。って、違う違う。これ全部、私の夢じゃん。こんな夢を見るなんて、私もとうとう末期かな。

布団を借りて、横になったらすぐに寝てしまった。夢の中だけどね。次に起きたら私は自分の部屋にいた。あ、やっぱり全部夢だったんだ、なんて思ってた。

リビングに行ったら、お父さんとお母さんがいた。

「おはよう、美野」

「おはよう、お父さん、お母さん」

あれ、変だな。お父さんとお母さんがいる。変だな。だって二人は一週間前に交通事故で……

ああ、そうか。こっちが夢なんだ。ちょっと残念。まあ、人生短けりゃ夢見たって別にいいよね。

「昨夜、午後七時頃、東京都空座町で強盗殺人事件がありました。殺害されたのは空座第一高等学校に通う田辺美野さん。ご両親は一週間前に交通事故で亡くなっており、一人のところを狙われたようです。容疑者は現在逃亡中で」

(後書き)

少女Tは殺されてしまって、そのことに気付かないまま浮遊霊として学校に来てたという……

そらシカトされるわな。

一護が言った「何でいんだよ」「は、何でまだ魂葬されてないんだよ」という意味です。完全に言葉足らず。

ちなみに屋上で寝ていた彼女をこっそり魂葬したのは一護です。寝込みを襲ry

最後まで読んで頂きありがとうございました(^人^)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1714ba/>

とある少女Tの独白

2012年1月4日11時47分発行